

## 薬剤耐性キュウリ褐斑病菌に対する数種薬剤の防除効果

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

県内に分布するキュウリ褐斑病菌の数種薬剤に対する感受性を調査したところ、耐性を示す菌株が確認された。そこで、薬剤耐性キュウリ褐斑病菌に防除効果のある薬剤を調査し確認したので、参考資料とする。

### 2 参考資料

1) 県内のキュウリ栽培ほ場に分布するチオファネートメチル及びストロビルリン系耐性キュウリ褐斑病菌とチオファネートメチル、ボスカリド及びストロビルリン系耐性キュウリ褐斑病菌の両方に防除効果が認められる剤は、

- ・ ジェトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤1500倍（ゲッター水和剤）
- ・ ジェトフェンカルブ・プロシミドン水和剤2000倍（スミブレンド水和剤）
- ・ イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤2000倍（バルコート水和剤）
- ・ T P N水和剤1000倍（ダコニール1000）
- ・ ポリカーバメート水和剤600倍（ビスダイセン水和剤）
- ・ マンゼブ水和剤600倍（ジマンダイセン水和剤）
- ・ メパニピリム水和剤2000倍（フルピカフロアブル）
- ・ フルジオキシニル水和剤1000倍（セイビアーフロアブル20）

であった（図1，2）。また、チオファネートメチル・ストロビルリン系耐性キュウリ褐斑病菌に対しては、ボスカリド水和剤1500倍（カンタスドライフロアブル）も防除効果が認められた（図1）。

### 3 利活用の留意点

- 1) 本試験は各薬剤を散布後にキュウリ褐斑病菌を接種している。
- 2) 本試験に用いたキュウリ褐斑病菌の数種薬剤に対する感受性は下記のとおりである。

供 試 菌 株	チオファネートメチル	プロシミドン	ジェトフェンカルブ	ボスカリド	ストロビルリン
チオファネートメチル，ストロビルリン系耐性菌	HR	S	S	S	R
チオファネートメチル，ボスカリド，ストロビルリン系耐性菌	HR	S	S	VHR	R

R：耐性菌，HR：高度耐性菌，VHR：超高度耐性菌，S：感受性

- 3) 県内のキュウリ褐斑病菌の各種薬剤に対する感受性はほ場によって異なる。
- 4) 県内の耐性菌の出現状況については普及に移す技術第85号参考資料を参照する。

#### 4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間  
発生予察支援対策事業（平成21年度）

2) 参考データ

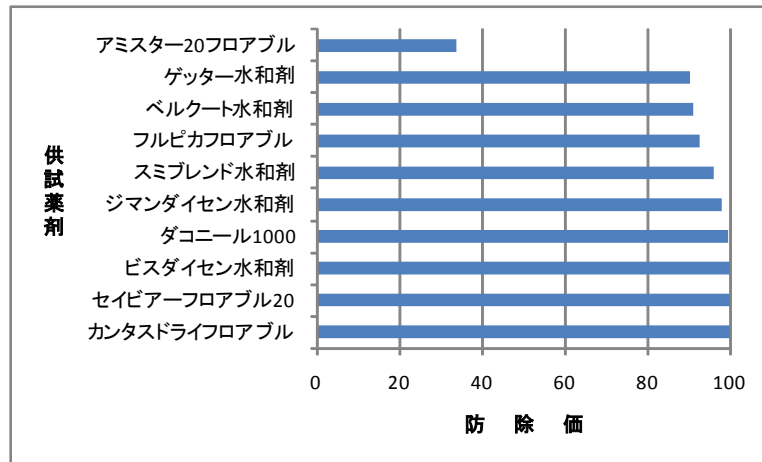


図1 チオファネートメチル及びストロビルリン系耐性キュウリ褐斑病菌に対する数種薬剤の防除効果（ポット試験，平成21年度）

※) 供試菌株は当所保存のMG3002である。

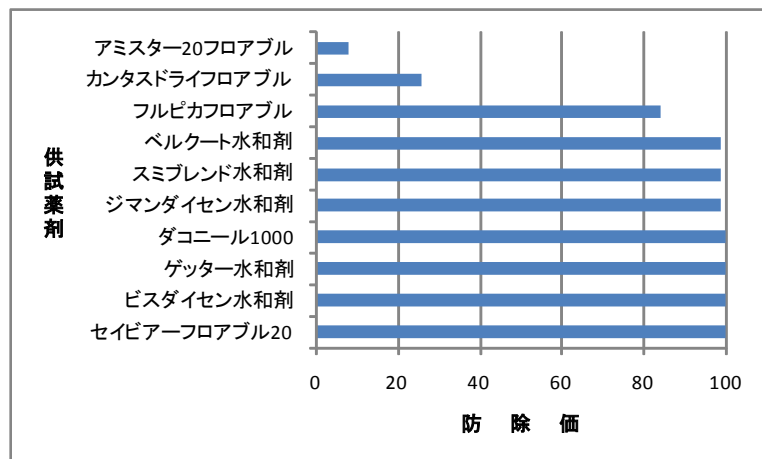


図2 チオファネートメチル・ボスカリド及びストロビルリン系耐性キュウリ褐斑病菌に対する数種薬剤の防除効果（ポット試験，平成21年度）

※) 本試験の供試菌株は当所保存のMG3004である。

3) 発表論文等

なし

4) 共同研究機関

なし